

- 震災から9年余りが経過し、今春には、全町避難が続く双葉町を含めた帰還困難区域の一部等で避難指示が解除されたほか、JR常磐線が全線で運転再開するなど、本県の復興は着実に前進。
- 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を進めながら、切れ目のない中長期的な取組が必要。
- 「第2期復興・創生期間」においても、本県の復興・再生を国・市町村と一体となって進めていくため、特に以下の点について訴えていく必要がある。

《 現状 ・ 課題 》

- **新型コロナウイルス感染症による影響**
 - 関連倒産の発生など経済への影響
 - 復興関連イベントの中止、工事の休止など復興事業への影響
 - ⇒ 人々の価値観・行動や社会経済システムの変容を適切に反映させる必要
- **福島復興再生特別措置法関連**
 - 重点推進計画の変更認定 (R2.5.1)
 - 福島復興再生特別措置法の一部改正 (R2.6.5)
 - ・ 帰還促進に加え、移住等の促進 ・ 営農再開の加速化
 - ・ 福島イノベーション・コースト構想の推進を軸とした産業集積の促進 (課税の特例を規定等)
 - ・ 風評被害への対応 (課税の特例を規定等) 等
- **令和3年度以降の復興の取組について (R2.7.17復興推進会議決定)**
 - ・ 令和3年度から5年間を「第2期復興・創生期間」と位置付け
 - ・ 第2期復興・創生期間における復旧・復興事業費を1.6兆円程度 (うち本県は1.1兆円程度) と見込む 等
- **避難地域・被災者関連**
 - 避難指示解除の動き
 - ・ R2.3.4 双葉町 (避難指示解除準備区域及び帰還困難区域の一部)
 - ・ R2.3.5 大熊町 (帰還困難区域の一部)
 - ・ R2.3.10 富岡町 (帰還困難区域の一部)
 - 特定復興再生拠点区域復興再生計画認定
 - ・ H29.9.15 双葉町 ・ H29.11.10 大熊町 ・ H29.12.22 浪江町
 - ・ H30.3.9 富岡町 ・ H30.4.20 飯館村 ・ H30.5.11 葛尾村
 - 避難者数の推移
 - ・ 164,865人 (H24.5) ⇒ 37,299人 (R2.8)
- **風評・風化対策関連**
 - 6秒PR動画「もって知って ふくしま！」第2弾配信開始 (R2.1.17)
 - ふくしまの酒まつり・味噌醤油まつり初開催 (R2.2.1)
 - 全国新酒鑑評会震災後最多33銘柄入賞 (R2.5.22)
- **福島イノベーション・コースト構想関連**
 - 福島水素エネルギー研究フィールド開所 (R2.3.7)
 - 福島ロボットテストフィールド全面開所 (R2.3.31)
 - 国際教育研究拠点に関する有識者会議の最終取りまとめ (R2.6.8)
- **インフラ等環境整備関連**
 - 常磐自動車道常磐双葉IC供用開始 (R2.3.7)
 - JR常磐線全線運転再開・Jヴィレッジ駅常設化 (R2.3.14)



《 特に訴えるべき視点 》

- 【第2期復興・創生期間のふくしまの復興・創生に向けて】**
- ⇒ 取組の手法等を工夫しながら、新型コロナウイルス感染症への対応と復興・再生を両立
 - ⇒ 継続する課題への取組の推進・新たに顕在化する課題への柔軟な対応

- 1. 避難地域の復興・再生**
- ⇒ 「福島12市町村の将来像」の実現
 - ⇒ 福島再生加速化交付金など必要な予算確保、移住の促進等に向けた支援
 - ⇒ 帰還困難区域の復興・再生、避難者等の生活再建支援

- 2. 風評払拭・風化防止対策の強化**
- ⇒ 国との連携、協力による風評・風化対策の更なる推進
 - ⇒ 県産農林水産物等の安全確保と風評対策の強化
 - ⇒ 観光復興の推進による風評対策の強化
 - ⇒ Jヴィレッジの活用

- 3. 福島イノベーション・コースト構想の推進**
- ⇒ 国際教育研究拠点の構築
 - ⇒ 研究開発の推進及び産業集積の加速化、構想を支える教育・人材育成
 - ⇒ 浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進
 - ⇒ 推進体制基盤の強化、拠点の運営への支援

- 4. 新産業の創出及び地域産業の再生**
- ⇒ 再生可能エネルギー先駆けの地及び福島新工ネ社会構想の実現
 - ⇒ 医療・航空宇宙・ロボット関連産業等の集積と産業の再生に向けた支援
 - ⇒ 農林水産業の再生に向けた支援

- 5. 復興を支えるインフラ等の環境整備**
- ⇒ 浜通りの復興に不可欠なインフラ整備の予算確保
 - ⇒ 放射性物質対策の確実な実施
 - ⇒ 中間貯蔵施設・特定廃棄物埋立処分施設等への対応